

令和6年第4回山田町議会定例会

一般質問通告の要旨

一般質問は、12月10日(火)に順位1～5を、11日(水)に順位6～10を、12日(木)に順位11を行う予定です。

順位	質問者	質問事項	質問要旨
1	5番 昆 清	1 都市型スポーツ等整備推進事業について	令和4年1月の高校生議会で提案され、現在工事が進んでいる都市型スポーツ等整備推進事業について、使用方法、想定している利用対象者の属性、スポーツの種類、イベント開催予定等の詳細を伺います。
		2 関谷地区の道路改良について	令和4年第1回定例会で一般質問した山田第13地割関谷地区の道路改良について、現在の進捗状況と今後の方向性について伺います。
		3 山田町立山田小学校児童の徒歩通学について	現在交通指導隊や町民の皆様の協力により、朝の登校の見守りを行っていただいておりますが、学校側の安全対策はどのようなになっているのか伺います。
		4 荒神海水浴場の環境整備について	(1) 田の浜地区から荒神海水浴場への道路の整備計画について、現在の進捗状況を伺います。 (2) 海水浴シーズンになると駐車場が満車で駐車できないという声を聞くが、田の浜地区の緑地を駐車場にしてバスで送迎する等の対策は考えていないのか伺います。

順位	質問者	質問事項	質問要旨
2	8番 佐々木 慶信	1 郷土芸能保存について	<p>岩手県無形民俗文化財に指定されて初めて開催された今年の山田八幡宮、大杉神社の祭典はこれまでにないぐらいの盛り上がりであった。指定を受けたお祝いムードの中、初めての試みであった山田中学校全校生徒が祭りに参加したことも盛り上がった要因の一つと思う。</p> <p>人口減少・少子高齢化が進む中で県内各地域の祭事が廃止されたり、縮小されたりしている。そのような状況でも他市町村に自慢できる「お祭り」を開催できていることは大変誇りに思っている町民は多い。</p> <p>これからも自慢できる「お祭り」であり続けていくためにもさまざまな成果・課題をしっかりと検証していく必要があるのではないかと。そこで伺う。</p> <p>(1) 祭典中、駐車場が大変だったということも多く町民から言われた。今年、駐車スペースとして準備したところは何か所で、およそ何台分か。また、来年に向けて、駐車スペースの拡充を図る計画はあるか。</p> <p>(2) 16日の大杉神社のお神輿が道の駅「おいすた」に行ったときには多くの観光客でにぎわっていた。お神輿のあと、各郷土芸能団体が順番に踊りを披露したが、見物している観光客が十重二十重に取り囲んで、踊りが見えない状態であった。そこで提案であるが、お祭りスポットとして「おいすた」の空きスペースに観覧席を設置して観光客に目を向けた対策を講じてみてはいかがか。</p> <p style="text-align: right;">(次のページへ)</p>

順位	質問者	質問事項	質問要旨
2	8番 佐々木 慶信	1 郷土芸能保存について (つづき)	(3) 今年は山田中学校の全校生徒が何らかの形で「お祭り」に参加してくれた。中学生の参加について郷土芸能団体も非常に好意的にとらえている。来年も中学生の参加は継続すると聞いている。そこでこれからも郷土芸能団体を支えていくためにも何らかの支援策を打ち出してほしいと願うが、郷土芸能団体を支えていく制度はないのか伺う。
		2 不登校対策について	<p>文部科学省によると「令和5年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果の概要(令和6年10月31日)」によると、「小・中学校における不登校児童生徒数は346,482人(前年度299,048人)であり、前年度から47,434人(15.9%)増加した。11年連続増加し、過去最多となった。」とのことである。</p> <p>本町でも不登校に悩む子どもや保護者、そして対応に追われる学校関係者にとっては一刻の猶予も許されない状況だと感じる。そこで伺う。</p> <p>(1) 昨年度の同時期と比較して今年度の本町の不登校児童生徒はどのような現状であるのか伺う。</p> <p>(2) 町民の皆さんも大いに関心を寄せていることであるが、町の新たな教育支援施設として利活用を予定している旧船越小学校の計画は具体的にどこまで進んでいるのか。</p>
		3 鯨と海の科学館について	<p>鯨と海の科学館は本町の誇る施設である。しかし、令和5年度入館者数は16,404人で、1日平均の来館者数は約54人ということである。令和4年度入館者数は16,801人と比較してもほぼ横ばいの入館者数である。町民を含め、多くの観光客に鯨館に来てもらうためにも何らかの対策を講じる必要がある。その一つの方策として入館料の見直しの検討が必要と考える。近隣</p> <p>(次のページへ)</p>

順位	質問者	質問事項	質問要旨
2	8番 佐々木 慶信	3 鯨と海の科学館について (つづき)	<p>市町村の施設では、宮古市の崎山貝塚縄文の森ミュージアムの入館料は高校生以下無料、同じく宮古市の岩手県立水産科学館の入館料は高校生以下無料、陸前高田市立博物館の観覧料は無料でそれぞれ開放されている。そこで伺う。</p> <p>(1) 現在の入館者数 16,404 人という数字をどのように捉えているか。</p> <p>(2) 現在小中学生 150 円、高校生・学生 200 円の入館料を見直すことによって、来館者が増加するのではないかと考えるが、見直す計画はないのか。</p> <p>(3) 船越家族旅行村を含めた船越地区の活性化のためにも観光シーズンの 4 月から 10 月までは思い切って入館料を無料にする計画はないのか。</p>
3	7番 山崎 忠弘	1 廃校舎の利活用について	<p>廃校舎の利活用については、全国の自治体で大きな問題となっているが、当町でも重要な課題となっている。現在、当町における利活用が定まっていない廃校舎は、旧荒川小学校、旧大浦小学校、旧轟木小学校、旧船越小学校、旧山田小学校、旧山田北小学校の 6 校がある。利活用の方法について、学校を長年地域の重要な施設として見守ってきた地区住民の方々は色々な意見などがあると思う。また産業の活性化を目指す町内の企業などでも様々なアイディアなどを持っていると思う。そこで、廃校舎の利活用と町民との関わりについて、次の 2 点を伺う。</p> <p>(1) 廃校舎の利活用について、どのように検討を進めているのか伺う。</p> <p>(次のページへ)</p>

順位	質問者	質問事項	質問要旨
3	7番 山崎 忠弘	1 廃校舎の利活用について (つづき)	(2) 町民一人ひとりが尊重され、まちづくりの主役として積極的・主体的に参加する「協働のまちづくり」の実現のためには、地域住民の声を聴くことが必要と考える。そこで、現在、進めている旧船越小学校の利活用の検討については、県内外の大学及び教育関係機関との連携・協力の下、町の新たな教育支援施設として利活用する方向で検討を進めていくとのことであるが、今後、どのように住民の意見を聴いていくのか伺う。また、旧船越小学校以外の廃校舎の利活用計画について、住民の意見を聴いて進めているのか伺う。
		2 今後の財政状況の見通しについて	町長は施政方針で、「町の財政状況については、財政健全化判断比率などの指標を見ても良好な状況にあると認識している。しかしながら、今後の人口減少による税収減などの影響を見据え、政策の推進・実現と堅実で安定的な財政運営の双方を重点課題と捉え、持続可能な行財政基盤の確立に向けた取組をより一層進めて行く。」とのことである。少子化と高齢化が進む中、さらなる住民サービス向上のための事業推進が求められるが、一方でそのための財源の確保が重要となってくるものと考えます。 そこで今後の財政状況の見通しについて、次の2点を伺う。 (1) 今後の歳入・歳出について、どのような見通しをもっているか伺う。 (2) 道の駅やまだ「おいすた」や山田小学校新校舎の建設などに係る起債の償還が、今後、重荷になってくると思うが、施政方針で示した新たな企業の誘致、役場庁舎の整備や子育て世代を応援する施策など重要事業を遂行していくための財源はどのように確保していくのか伺う。

順位	質問者	質問事項	質問要旨
3	7番 山崎 忠弘	3 ネーミング ライツ事業の 導入について	<p>人口減少が進む中、税収以外の新たな自主財源を確保する方策として、ネーミングライツ事業を導入する自治体が増加している。ネーミングライツ事業とは、公共施設などへの愛称を付与する権利であるネーミングライツを民間事業者に与えることで得られる対価を施設などの運営に活用するというものであるが、県内をみると、盛岡市では、株式会社岩手銀行やみちのくコカ・コーラボトリング株式会社などにネーミングライツを与え、盛岡南公園球技場の愛称を「いわぎんスタジアム」に、また盛岡市アイスリンクの愛称を「みちのくコカ・コーラボトリングリンク」などとしている。また宮古市では、東北ヒロセ電機株式会社にネーミングライツを与え宮古運動公園野球場の愛称を「東北ヒロセ野球場」としている。</p> <p>今後、人口減少などにより町税などの自主財源の確保は厳しい状況になるものと考えられる。その中で新たな自主財源を確保する方策として、ネーミングライツ事業を導入する考えはないか伺う。</p>
4	3番 阿部 吉衛	1 オランダ島 について	<p>浮棧橋や遊歩道などの復旧について進捗状況を伺います。</p>
		2 山田北地区 の振興について	<p>道の駅やまだ「おいすた」が開業しておよそ1年半が過ぎ、町道細浦柳沢線の交通量も増え、道の駅付近の交通に関して地域住民の方からさまざまな声が寄せられており、このことについて、町の考えを伺います。</p> <p>また、以前の定例会においても質問しておりますが、再度、環境美化について伺います。</p> <p style="text-align: right;">(次のページへ)</p>

順位	質問者	質問事項	質問要旨
4	3番 阿部 吉衛	2 山田北地区の振興について (つづき)	(1) 柳沢地区にあるスーパーマーケットの交差点付近の街路樹が大きくなってきており、横断歩道を渡る歩行者も運転手も視界が悪く、交通に支障があるとの声が寄せられている。街路樹を移動するなど、何か対策することはできないか。 (2) 道の駅の出入り口付近の自動販売機の利用者が車を路上に停車することで車の通行に支障があり、危険に感じるとの声が寄せられている。何か対策することはできないか。 (3) 柳沢地区に公園は何か所あり、環境美化や整備はどのような形で進めていくのか。
		3 町営住宅について	町営住宅の防犯対策として、防犯カメラの設置ができないか伺う。
		4 町民駅伝大会について	このことについて、40回を機会に開催場所の変更を考える時ではないのか。例えば、現在の開催場所の旧山田北小前から役場周辺に変更することで、参加者は当然のこと、応援する方も多くなり、町全体が賑やかになると思いますが、町はどのように考えているのか伺います。
5	4番 中屋 佳信	1 柳沢地区から関谷方面への道路改良について	旧山田北小学校前から三陸鉄道下を横断し、関谷橋たもとまで至る町道沢田関谷線は、鉄橋付近から見通しが悪く、道幅も狭隘となり約200mにわたり車の相互通行ができない状況である。また、鉄橋桁下も2.2mと極端に低いことから、通行できる車両も大幅に制限され、地域住民は長年不便を感じている。 この路線については、以前より町に対して地域住民や道路利用者等から改良の要望があったと思うが、改めて今後の対応や道路改良計画について伺う。

順位	質問者	質問事項	質問要旨
5	4番 中屋 佳信	2 下水道整備事業の推進について	<p>公共下水道整備事業は、川や海の水質保全を図り、安全安心な水産物生産に必要な不可欠なものであるとともに、地域住民の快適な生活環境の向上に大きく寄与している。下水道整備事業の、より一層の効果促進を図る必要があると思うことから、以下について伺う。</p> <p>(1) 下水道等接続促進事業補助金については、接続率向上を図るため、令和4年度から6年度の期間限定で、供用開始後3年を経過した接続工事についても補助対象としたが、これに該当する実績状況と供用開始3年以内の実績状況について伺う。また、3年経過の接続工事への補助については、引き続き今年度以降も継続するべきと思うが、町の所見を伺う。</p> <p>(2) 柳沢地区の住民から、「いつから下水道が使用できるのか。」「浄化槽の家は下水道に接続しなくても良いのか。」等の問い合わせがあった。地域住民に対し、詳細な事業計画や補助制度等について丁寧な説明が必要と思うが、対応について伺う。</p> <p>(3) 山田処理区の整備計画について、事業計画区域を縮小する方向で見直しを行っているようであるが、計画区域の変更は、これから住宅建設やリフォームを計画する町民や関連事業者に大きな影響を与える。町民や事業者へ速やかな説明が必要と思うが、計画見直しに係る今後のスケジュールについて伺う。</p>
		3 姉妹都市及び友好親善都市等の交流事業再開について	<p>本町では以前、姉妹都市として千葉県山田町と長野県上山田町、友好親善都市として青森県平賀町などと親善交流事業を行っていたが、残念ながら15年位前にこれらの交流事業は途絶えてしまったと記憶している。このような他自治体との町民レ (次のページへ)</p>

順位	質問者	質問事項	質問要旨
5	4番 中屋 佳信	3 姉妹都市及び友好親善都市等の交流事業再開について (つづき)	<p>ベルの交流事業は、様々な面で大きな成果を上げてきたと思う観点から、これからの新たなまちづくりにおいて、交流事業の再開を行うべきと考えるが、以下について町の見解を伺う。</p> <p>(1) 前段に挙げた3町ともに、市町村合併を経て名称も変わり、現在は市となっているが、当時締結した提携は、どのような扱いとなっているのか。</p> <p>(2) 交流事業では、お互いの町の特産品販売が盛況を見せ、事業者が取引関係を築いたり、児童生徒の派遣交流では、体験学習を通じて、お互いの郷土の理解と親睦を深め、広い視野に立った子どもたちの育成など、様々な成果があったと思うが、町の総括評価について伺う。</p> <p>(3) これからの「真の発展期」の施策を進める上で、町民レベルとなる姉妹都市交流事業の再開は、様々な波及効果が期待できると思うが、町長の見解を伺う。</p>
6	13番 山崎 泰昌	1 山田町総合計画について	<p>第9次長期計画が令和7年度に終了する。この計画の中で基本目標を掲げているような取組を行ってきたが、その成果と進捗状況を質問するとともに、第10次計画への影響を質問する。</p> <p>(1) 水産業の目標として正組合員1人あたりの年間漁業生産額を300万円としていたが実現できているか。</p> <p>(2) アサリ漁場環境整備事業の成果を具体的に示してもらいたい。</p> <p>(3) つくり育てる漁業の再生事業は一定の成果を上げていると認識しているが、令和3年度から今年度までの間で、海中の状況が著しく変化していると見受けられる。町としても正確な状況を把握して、それに対応する施策を打てるような用意をすべきでは。</p> <p style="text-align: right;">(次のページへ)</p>

順位	質問者	質問事項	質問要旨
6	13番 山崎 泰昌	1 山田町総合計画について(つづき)	<p>(4) 町営住宅の在り方と適正な管理戸数の検討の進捗状況は。また、公共施設集約化についても同様に質問する。</p> <p>(5) マイナンバーカードの普及促進により7月31日時点の当町における交付率は83.8%となっているが、その後の推移は。交付を受けていない場合は町民も行政も不都合な事案はおきないのか。</p> <p>(6) 児童生徒派遣事業は海外派遣がなくなった現状では、内容の見直しが必要なのではないか。今よりも子どもたちの生活や将来に向けた実践的な考えを取り入れても良いのではないか。</p> <p>(7) 鳥獣被害防止対策の強化を図ってきた。一定の成果はあったと認識しているが、現状では農作物の被害だけではなく、住民生活においての危険、恐怖にもなっていると感じられるが当町の見解は。</p>
		2 環境保護について	国や県が進めている温室効果ガス削減の施策において、町としての取組は求められているのか。
7	6番 豊間根 信	1 防災士育成状況と今後の取組について	当町を含め県内各市町村において、防災士取得者の育成に取り組んでいる。当町における防災士資格の取得状況はどのようになっているか。また以前より取得者の皆さんへ声をかけ、防災士会団体等を立ち上げ、さらなる前向きな連携をもって活動に取り組んでいくべきであると話してきましたが、今後どのような形で進めていくのか問う。

順位	質問者	質問事項	質問要旨
7	6番 豊間根 信	2 山田町まると道の駅構想における産直ひろば「ふれあいパーク山田」と道の駅やまだ「おいたた」の相乗効果について	産直ひろば「ふれあいパーク山田」の工事が進み、北・南の両拠点の相乗効果を期待するとともに、町の中心商店街との連携も大変期待しているところである。山田町まると道の駅構想の現状と今後の展望について問う。
		3 荒川地区の養鶏場の煙害対応について	当初の予定よりかなり遅れながらも、先日現地において取り付けられた新型サイクロンを稼働しての状況見学会に参加した。2台の予定であった機器は1台での状況であったが、その後どのように進んでいるのか。臭気等のデータの提出を含め、その対応について問う。
8	9番 関 清貴	1 漁業振興について	<p>(1) 本年度のホタテ養殖の生産量は平年並みか。</p> <p>(2) アワビの稚貝放流の今後の課題は。</p> <p>(3) 水産に特化した新たな課の設置において水産技師を募集しているようであるが、採用できなかった場合、どのように対応するか。地域おこし協力隊制度を活用して柔軟に対応する考えはないか。</p> <p>(4) 海洋環境の変化により水揚げされる魚種が変化しているようだが、その状況を随時調査できているか。</p> <p>(5) 養殖いかだ設備の支援について、考え方を以前質問しているが、漁業を取り巻く環境が厳しさを増していることから、新規に漁業に取り組む方のためにも検討する考えはないか。</p>
		2 生活環境について	雨水排水で生活環境整備が整っていない山田第12地割地内の宅地から河川に排水する環境を整備する考えはないか。

順位	質問者	質問事項	質問要旨
8	9番 関 清貴	3 織笠大橋付近の通行について	織笠大橋を徒歩や自転車で利用しているのを見かけるが、自動車の交通量も多く、危険な場面が見受けられる。織笠地区の水門に歩行者等が安全に通行できる専用道が整備されていることから、そちらに誘導する標識を設置し、安心安全な通行を目指す考えはないか。
		4 交流人口増の施策について	船越家族旅行村にパークゴルフ場が整備されたが利用者を増やすために大会等を積極的に誘致する考えはないか。
		5 総合運動公園について	(1) 町民総合運動公園の駐車場は大会が重なれば車を置けないと苦情が寄せられていると聞くが対策を考えているか。 (2) テニス場は開設以来大きな改修もされることなく現在に至っている。町民の方々がテニスを身近なところで楽しむことができるように被災した土地等を有効に活用し、町の中心部に移設する考えはないか伺う。
		6 不登校の現状について	全国的に不登校の児童生徒が増え続けているが、本町の実情と対応について伺う。また、本町において不登校児童の低年齢化が進む傾向はみられるか。
9	12番 横田 龍寿	1 消防団活動におけるスマートフォンアプリケーションの活用について	全国的に消防団員数は減少しており、当町においても同様の傾向にある。これまで何度か機能別分団員制度の導入を提案してきたが、簡単に改善することは難しいと認識している。少人数でもより効率的に活動できるようにするために、消防団用のスマートフォンアプリケーションを積極的に導入すべきと考えるがどうか伺う。
		2 妊婦健診について	(1) 当町における出産予定日を超えた方の過去3年間の人数を述べよ。 妊婦健診における受診票は出産予定日までのものであり、それを超えると週に2回の健診費用が全額自己負担になると認識している。その健診費用を町が支援してはどうか。 (次のページへ)

順位	質問者	質問事項	質問要旨
9	12番 横田 龍寿	2 妊婦健診について (つづき)	(2) 出産予定日確定のための診断費用は自己負担だと認識している。その費用も町が支援してはどうか併せて伺う。
		3 辺地債の活用について	(1) 現在、辺地債を活用して豊間根地区の整備、外山地区の整備を行っているが、この2地区以外に辺地債の対象となる地区は町内にあるのか。ある場合はどの地区が該当するのか述べてよ。 (2) 辺地債の対象地区に大浦地区が入っていると私は認識している。先日の町長の所信において旧船越小学校の利活用が挙げられていたが、先に閉校となり町役場本庁舎からの距離も遠い旧大浦小学校の利活用が優先されるべきではないか。また、田の浜地区も辺地債の対象地区に該当するのであれば、旧大浦小学校、旧船越小学校を一体的に、大浦地区、田の浜地区を一体的に整備すべきではないかと考えるが町の見解を伺う。
		4 防潮堤避難階段への灯具設置について	(1) 防潮堤にある避難階段に一部灯具が設置されていない箇所があると聞いている。安全確保のために全ての避難階段に灯具が設置されるべきと考える。防潮堤は県の管理であるが、全ての避難階段に灯具が設置されるまで、町として継続して県に要望を行うべきであると考えているが、現時点で要望を継続して行っているのかどうか伺う。 (2) 要望しているのであれば、県からはどのような回答を得ているのか述べてよ。
		5 船越家族旅行村の利活用について	船越家族旅行村の県管理部分について供用再開はいつからになるのか具体的に述べてよ。
10	2番 菊地 光明	1 防災について	(1) 戸別受信機のあり方について、担当課はどこで、設置基準はどうしているのか。 (次のページへ)

順位	質問者	質問事項	質問要旨
10	2番 菊地 光明	1 防災について (つづき)	(2) 避難場所に指定している施設には停電ユーザー別受信機が必要と思うが、担当課としてどう考えているのか、詳しく述べよ。
		2 事業振興について	<p>(1) 前回定例会において、同僚議員の質問に対し旧・織笠小学校体育館の利用計画について、防災倉庫である旧・山田高校体育館は関口川の浸水区域により、高台の旧・織笠小学校体育館に変更すると答弁しているが、その場合、隣接する福祉施設の引っ越し等の話し合いはしているのか。また、今後のあり方について詳しく述べよ。</p> <p>(2) 町として河川越波想定地区を官から民に貸付してよいと考えているのか。</p> <p>(3) 関口川の改修について、町はどう考えているのか。また、県と協議しているのか、詳しく述べよ。</p> <p>(4) 猫石坂の町道の整備計画は、地域住民から陳情を受けてから1年以上も経過しているが、その後どうなっているのか。遅れている理由、用地交渉の現状など、全てについて詳しく述べよ。</p> <p>(5) 町道明神崎線の落石防止柵と立木処理と階段整備の転落防止柵はどうなっているのか。いつ頃から整備可能なのか全てについて詳しく示せ。</p> <p>(6) 早川川の工事が中止してから3ヶ月以上経過しているが、その原因は何か。今後の方針について詳しく述べよ。</p> <p>(7) 若木線や女川線など町内の町道等でセンターラインや路側帯に雑草が覆いかぶさっている所が見受けられるが、町ではどのように理解しているのか。</p> <p>(8) 道路パトロールで官地、民地の雑草の繁茂状況を見ていないのか。官地の今後の草刈り等の整備予定はあるのか、詳しく述べよ。</p> <p style="text-align: right;">(次のページへ)</p>

順位	質問者	質問事項	質問要旨
10	2番 菊地 光明	2 事業振興について (つづき)	<p>(9) 町道金浜線の特に「下川付近の道路」について舗装はひび割れしていて、雨が降ると水溜まりになり不便をきたしている。そこにある道路の脇両サイドから雑草が覆いかぶさっている状態でラインも見えない状態である。道路パトロールするとき、職員はどんな報告をしているのか。それに対しどのように対処するのか、詳しく述べよ。</p> <p>(10) 田の浜地区の低地部について、普通財産なのか、行政財産なのか、担当課はどこなのか詳しく述べよ。現状は野鳥や鹿の遊び場になっているが、どのように認識しているのか。官地と民地の境はどうなっているのか。官地の雑草の刈り取りはどうなっているのか。民地の管理方法について所有者とどのような話し合いをしているのか、詳しく述べよ。</p>
		3 漁業について	<p>(1) 今年も上半期が終了したが、両市場と両組合の水揚げ量と金額を述べよ。それを受けて今後の町の対応について詳しく述べよ。</p> <p>(2) ホタテについては、前回定例会において10月か11月にならないと今年度の内容が分からないとの答弁であったが、ホタテの両市場の今年の水揚げ量と金額はどうか。来年度以降、貝毒による出荷規制が続いた場合、どのように対応するのか詳しく述べよ。</p>
		4 ふるさと納税について	<p>返礼品としてのウニについては、前回の定例会で聞いたが、今回は寄附金額上位10番までの返礼品と金額を詳しく述べよ。その上で、注文に対して発送できなかったものはなかったのか。また、新しい返礼品の開発等の方策について詳しく述べよ。</p>

順位	質問者	質問事項	質問要旨
10	2番 菊地 光明	5 山田北インターについて	<p>(1) このことについても、10月の起工式おめでとうございます。これもひとえに町長を先頭に立って日々努力していることに町民を代表して感謝申し上げます。そこで伺う。現在の状況について、言える範囲で答弁してください。例えば完成年度はいつ頃を予定しているのか。また、インターの入口はどこを予定しているのか。用地交渉は終わったのか詳しく述べよ。</p> <p>(2) 山田北インターから荒川地区の整備計画をどのように考えているのか詳しく示せ。</p>
		6 国際交流について	<p>(1) 友好都市の担当課はどこなのか詳しく述べよ。</p> <p>(2) ザイスト市への児童生徒の派遣やオランダ大使館主催事業への出席など、かつては国際交流事業に取り組んでいたが、今後の方針をどのように考えているのか詳しく述べよ。</p>
		7 コロナウイルスについて	<p>(1) このことについては、2類から5類になってからの患者数はどのくらいか。そのうち小学生と中学生の人数はどのくらいか。罹患により閉鎖した学校、学級、事業所はあるか、詳しく述べよ。また、町はその対応をしたのか。</p> <p>(2) 高齢者の希望者は、今後10月以降ワクチン接種が可能となるが、個人負担金はいくらになるかなど詳しく述べよ。</p>
		8 幼稚園・保育園について	<p>このことについて、関係者を集めて協議すると回答してから1年以上が経過したが、誰が委員で何回集まって、集会して、結論は出たのか。また、町としての今後の方針について詳しく述べよ。</p>

順位	質問者	質問事項	質問要旨
10	2番 菊地 光明	9 教育行政について	鯨と海の科学館について、速急に避雷針を修復しなければと昨年度当初予算に計上したのに、今年度の上半期が過ぎたのに足場組立工事発注すら見当たらない。今後どうしたいのか。今までの経過と今後の方針について詳しく述べよ。
		10 看板について	船越第16地割地内において、工事していないのに今でも「工事中につき通り抜けできません」との看板が設置されている。これについて、町は把握しているのか。先の工事によるものであれば撤去すべきであり、恒久物であれば設置方法を考えるべきではないか。
11	1番 木村 洋子	1 文化・芸術の振興と生きがいづくりについて	町内では音楽などのサークル活動が盛んに行われている。また、その活動の成果である音楽ステージなどは町民に感動や癒しを与え、震災の心のケアに役立っていると感じているところである。活動の中で、イベント参加や鑑賞などは会員個々のレベルアップにもつながり、活動の重要な位置を占める。しかしながら、開催が内陸の場合が多く、団体での移動のため、貸切バスを利用せざるをえなく、費用は会員同士で負担している。会員の中には年金生活者もおり、経済的負担が大きいとの声がある。会員がこれから生きがいを持ち、サークル活動を継続できるように町外における活動への支援を打ち出すべきではないか。
		2 災害公営住宅について	(1) 災害公営住宅に集会所が無い所がありコミュニティ保持のためにも集会所を設置すべきと以前より改善を求めている。住民の高齢化がさらに進んでいる状況もあり、集合住宅の空室の一室を利用し集会所を設けてはどうか。近くに集会所があれば荒天時も住民が集うことができ、高齢者の孤立防止につながる。日中、いつでも集会所として利用できる (次のページへ)

順位	質問者	質問事項	質問要旨
11	1 番 木村 洋子	2 災害公営住宅について (つづき)	<p>ようにしていくべきではないか。</p> <p>(2) 集合住宅の共益費の軽減策を6月の議会で決定したが、いつから開始となるか。また、手順や詳しい内容について伺う。</p>
		3 会計年度任用職員について	<p>近年、正職員に比べ会計年度任用職員が多いのではと感じるが、現状について伺う。</p> <p>(1) 正職員と会計年度任用職員の人数と比率は。</p> <p>(2) 男性と女性の割合は。</p> <p>(3) 給料は正職員に比べどうなのか。</p> <p>(4) 有給休暇や産休の状況は制度上取得できるか。</p> <p>(5) 子育て中の負担軽減策として、どのようなものがあるか。</p> <p>(6) 雇い止めはないか。</p>